



BOSCH

PRO

GIC 4-23 C | GIC 5-27 C

Robert Bosch Power Tools GmbH
70538 Stuttgart
GERMANY

www.bosch-pt.com

1 609 92A 8HH (2026.05) T / 15



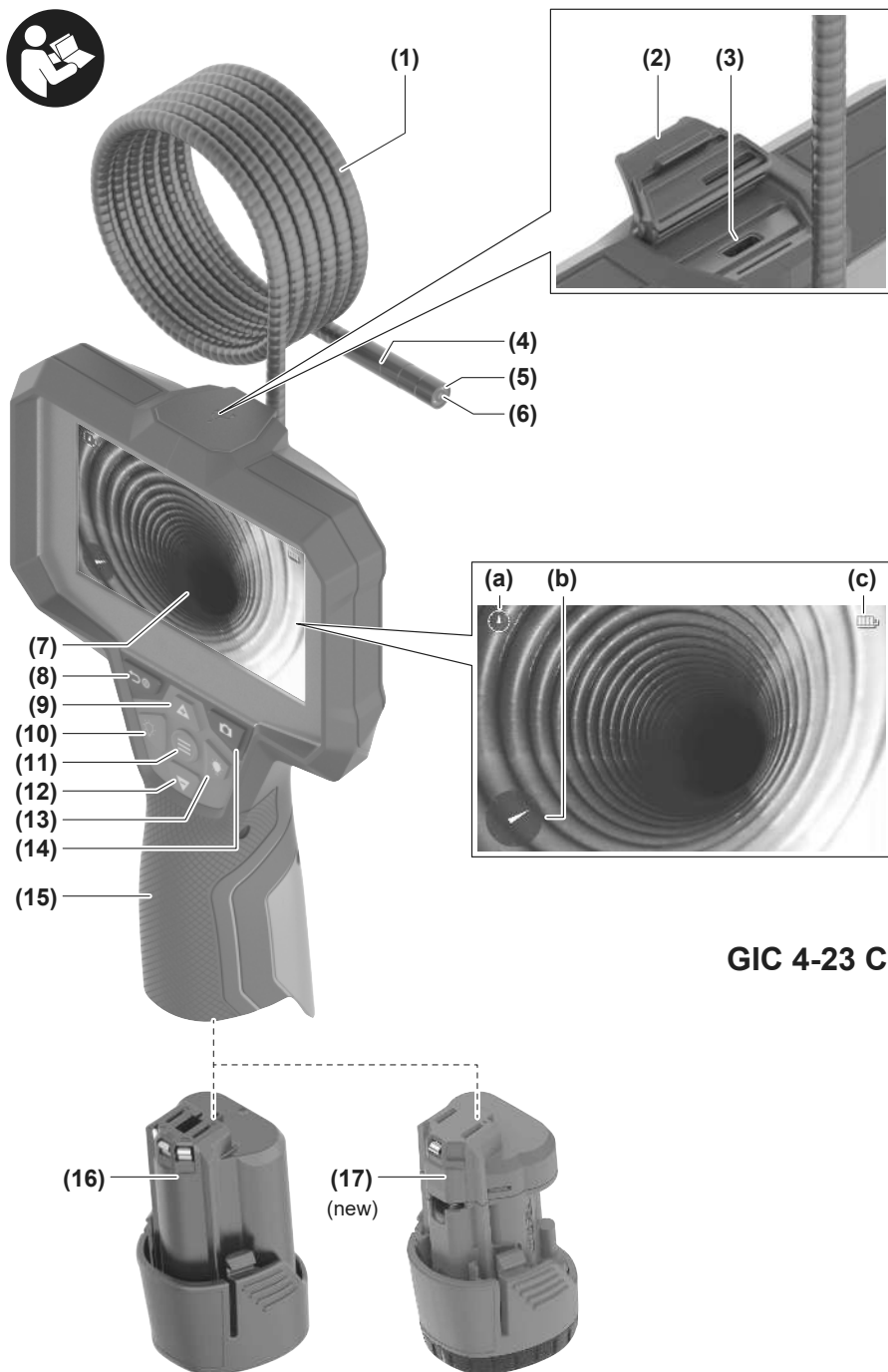
1 609 92A 8HH



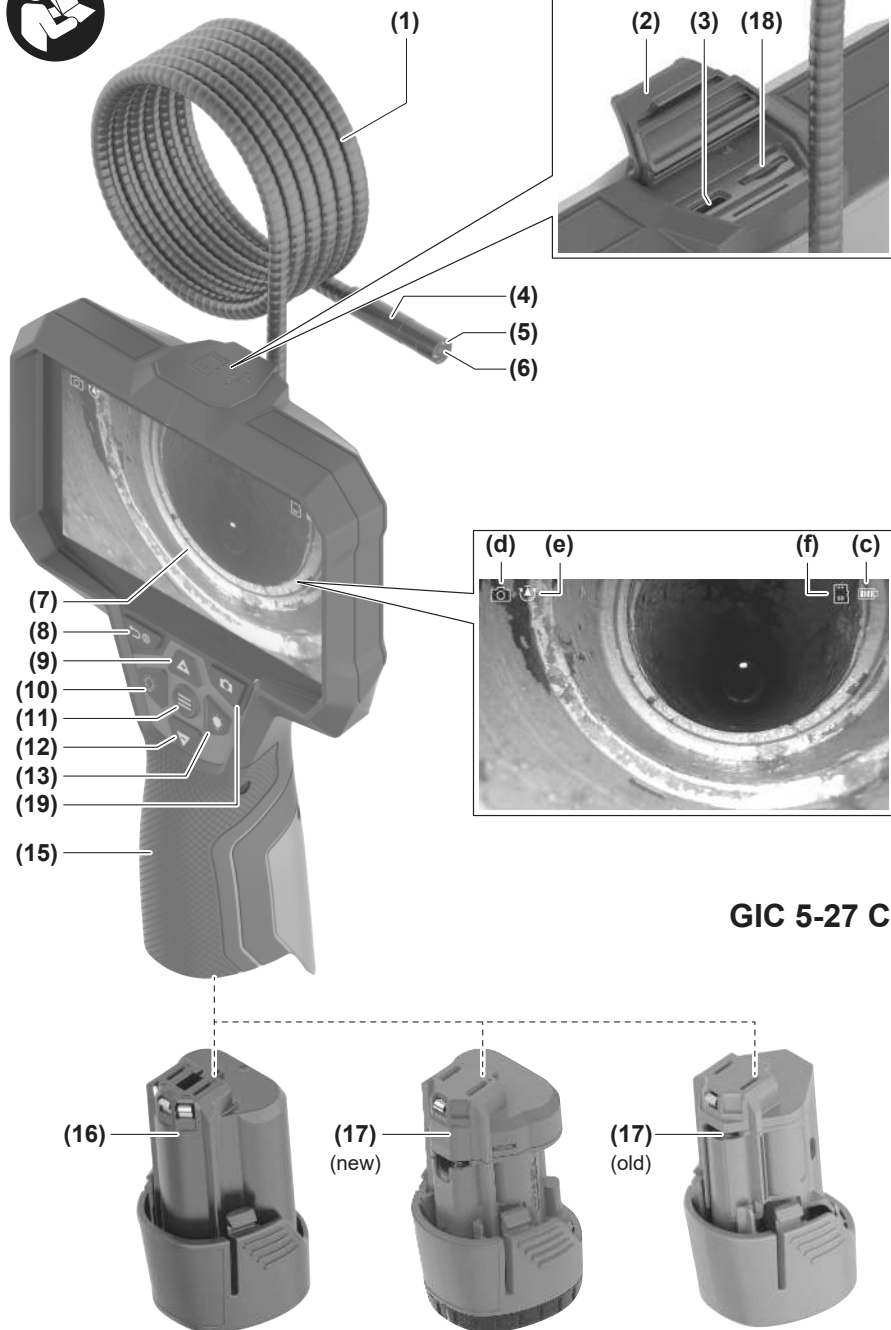
ja オリジナル取扱説明書



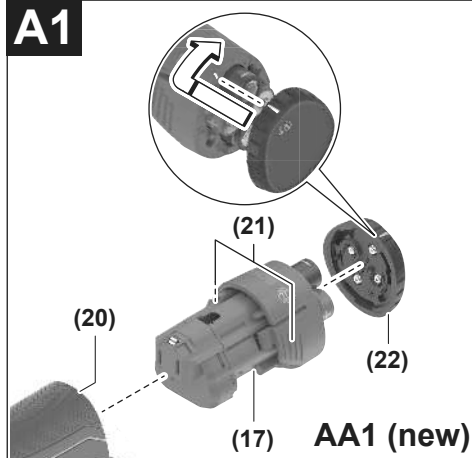
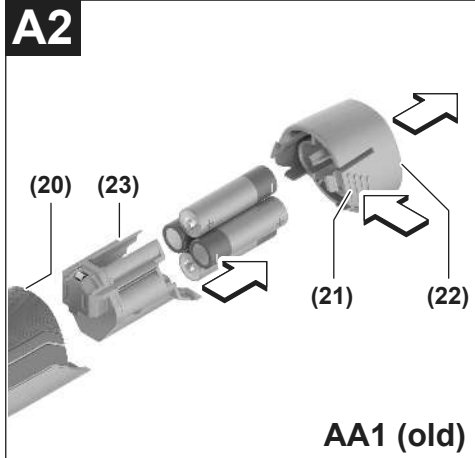
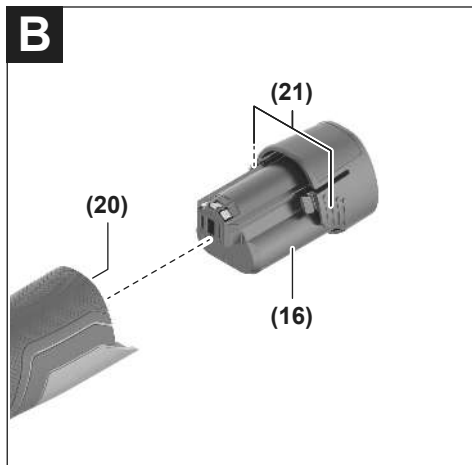
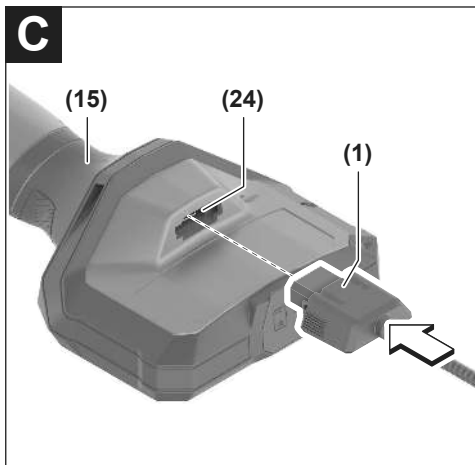
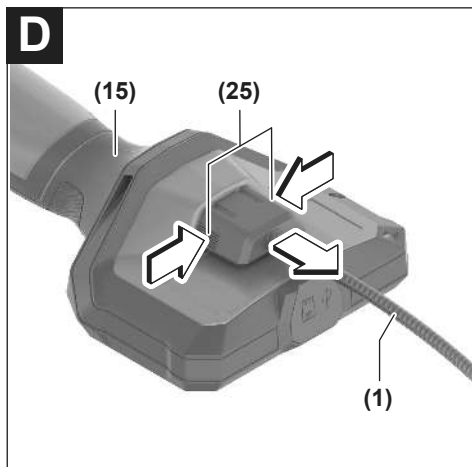
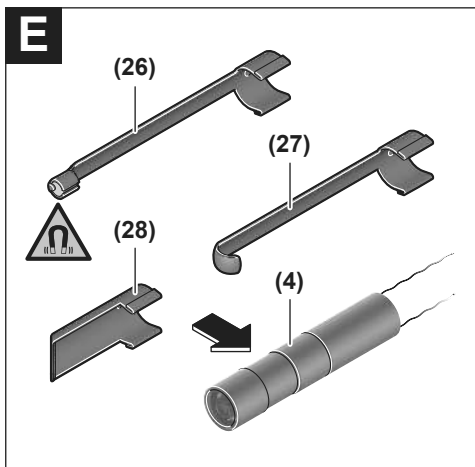
日本語	ページ 7
-----------	-------

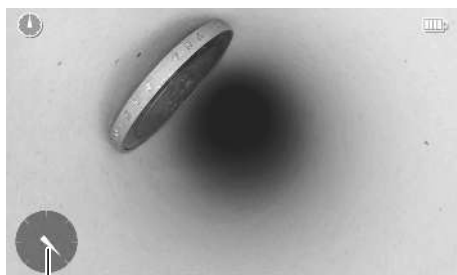


GIC 4-23 C

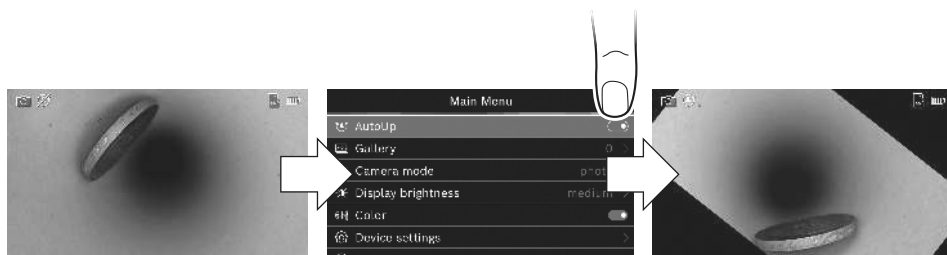
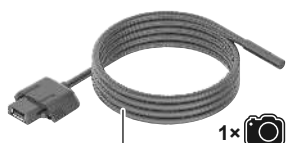


GIC 5-27 C

A1**A2****B****C****D****E**

F

(b)

GIC 4-23 C**G****GIC 5-27 C**

1 600 A02 R6M (Ø 8.3 mm/1.5 m)
 1 600 A02 R6P (Ø 8.3 mm/3.5 m)
 1 600 A02 Z63 (Ø 3.9 mm/1.5 m)

**(29)**

(30)
 (GIC 5-27 C)



1 600 A02 Z61 (Dual Camera/1.5 m)

**(31)**

日本語

安全上の注意事項



すべての指示をよくお読みになり、指示に従って正しく使用してください。スコープを指示に従って使用しない場合、スコープに組み込まれている保護機能が損なわれることがあります。この取扱説明書を大切に保管してください。

- ▶ スコープの修理は、必ずお買い求めの販売店、または電動工具サービスセンターにお申しつけください。専門知識を備えた担当スタッフが純正交換部品を使用して作業を行います。これによりスコープの安全性が確実に保護されます。
- ▶ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉塵のある場所）ではスコープを使用しないでください。スコープ内で、火花が発生し、塵埃や蒸気が着火するおそれがあります。
- ▶ スコープで作業を行う場合（取付け、保守など）やスコープを輸送／保管する場合は、あらかじめ電池を外しておいてください。
- ▶ スコープを長期間使用しない場合には、スコープから電池を取り出してください。電池をスコープの中に長期間入れたままにすると、電池が腐食することがあります。
- ▶ 光線を人や動物に向けたり、光線を覗き込んだりしないでください。たとえ距離が離れていても同様です。
- ▶ スコープを使用する前に作業領域を点検してください。スコープの部分が、電気配線、可動部品や化学物質に触れることがないようにしてください。作業領域に取り回されている電気配線の回路を遮断してください。これらの対策によって爆発、感電および物損の危険を低減できます。
- ▶ 作業領域に健康を脅かす物質が存在する場合、保護メガネ、保護手袋や呼吸保護具などの適切な個人保護具を着用してください。排水管やそれに類した領域では、毒性、感染性、刺激性のある、またはその他の種類の健康を脅かす固体状、液状、ガス状の物質が存在するおそれがあります。
- ▶ 健康を脅かす物質が存在する領域で作業を行う場合、特に清潔さに注意を払ってください。作業中に飲食しないでください。健康を脅かす物質に触れないようにし、作業後にはそれらの物質に触れた可能性のある手やその他の身体部分を石けん水で洗浄してください。これにより健康を脅かす危険が低減されます。
- ▶ スコープを使用する際、水中に身を置かないでください。水中での作業により感電の危険があります。
- ▶ バッテリーを改造したり分解しないでください。ショートにつながるおそれがあります。

- ▶ バッテリーが損傷していたり、バッテリーを不適切に使用すると、煙が発生する可能性があります。さらにバッテリーが発火したり、爆発したりするおそれがあります。その場合には新鮮な空気を取り入れ、不快感がある場合には医師の診断を受けてください。煙が気道を刺激する可能性があります。
- ▶ 誤った方法でバッテリーを使用したり、不具合のあるバッテリーを使用したりすると、バッテリーから可燃性の液体が漏れ出るおそれがあります。その液体に決して触れないでください。誤って触れてしまった場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、すぐに医師の診断を受けてください。バッテリー液が漏れ出た場合、皮膚に接触すると刺激を受けたり、やけどにつながるおそれがあります。
- ▶ 釘やドライバーなどの先の尖った物体により、または外的な力を加えるとバッテリーが損傷することがあります。これによって内部ショートが生じたり、バッテリーが燃焼・発煙・爆発・過熱するおそれがあります。
- ▶ コンタクトをブリッジするおそれのあるクリップ、硬貨、鍵、釘、ネジやその他の小さな金属製のものに、使用してはいないバッテリーを近づけないでください。バッテリーのコンタクト間のショートは、火災につながるおそれがあります。
- ▶ メーカーの製品にのみバッテリーを使用してください。組み合わせでご使用になる場合に限り、バッテリーは危険な過負荷から保護されます。
- ▶ メーカーが推奨している充電器でのみバッテリーを充電してください。特定のバッテリーの充電を目的に製造された充電器で他のバッテリーを充電すると、火災の原因となることがあります。



長時間当たる直射日光、火、汚れ、水や湿度から保護し、バッテリーを熱から守ってください。爆発やショートにつながるおそれ

があります。

- ▶ バッテリーを挿入、取り外すときはパワースイッチがオフになっていることを確認してください。
- ▶ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ▶ スイッチで始動、および停止操作のできない電動機械は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動機械は危険です。修理を依頼してください。



磁気を帯びたアクセサリーを埋め込み型医療機器やその他の医療器具（ペースメーカーやインスリンポンプなど）に近づけないようにしてください。アクセサリーのマグネットにより磁界が

生じ、埋め込み型医療機器やその他の医療器具の機能を損ねるおそれがあります。

- ▶ **磁気を帯びたアクセサリを磁気データ媒体や磁気の影響を受けやすい装置に近づけないようにしてください。** アクセサリのマグネットの作用により不可逆的なデータの損失を招くおそれがあります。

製品と仕様について

取扱説明書の冒頭に記載されている図を参照してください。

用途

スコープは、アクセスしにくい領域や暗い領域を検査するのに適しています。スコープは、同梱のアクセサリをカメラヘッドに取り付けた後、小さく軽量の物体（小ネジなど）を動かしたり、取り外すのにも適しています。

スコープは、医療目的で使用してはなりません。また、スコープは、パイプ栓を持ち上げたり、ケーブルを引っ張るためのものではありません。

各部の名称

記載のコンポーネントの番号は、構成図のページにあるスコープの図に対応しています。

- (1) カメラケーブル
- (2) 上部のカバー
- (3) USB Type-C®ポート^{a)}
- (4) カメラヘッド
- (5) カメラヘッドの照明
- (6) カメラレンズ
- (7) ディスプレイ
- (8) オン/オフスイッチ
- (9) 上側のボタン
- (10) 左側のボタン

- (11) 中央のボタン
- (12) 下側のボタン
- (13) 右側のボタン
- (14) 写真撮影ボタン (GIC 4-23 C)
- (15) ハンドユニット
- (16) バッテリー^{b)}
- (17) 電池アダプター AA1
- (18) マイクロSDカード用スロット (GIC 5-27 C)
- (19) 写真/動画撮影ボタン (GIC 5-27 C)
- (20) 電池トレイ
- (21) ロック解除ボタン
- (22) 電池アダプター用ロックキャップ
- (23) 電池アダプターのカバー（電池アダプター、旧仕様）
- (24) カメラ接続部
- (25) カメラケーブルのロック
- (26) マグネット
- (27) フック
- (28) ミラー
- (29) USB Type-C®ケーブル
- (30) マイクロSDカード^{b)} (GIC 5-27 C)
- (31) キャリングバッグ

a) USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forum の登録商標です。

b) このアクセサリは標準付属品には含まれません。

画面表示

- (a) 電池残量表示 **Up Indication** (GIC 4-23 C)
- (b) 方向表示 **Up Indication** (GIC 4-23 C)
- (c) 電池/充電電池の残量表示
- (d) 撮影モードのアイコン (GIC 5-27 C)
- (e) ステータス表示 **AutoUp** (GIC 5-27 C)
- (f) マイクロSDカードのステータス表示 (GIC 5-27 C)

テクニカルデータ

スコープ		GIC 4-23 C	GIC 5-27 C
部品番号		3 601 B41 5K0	3 601 B41 4K0
ディスプレイサイズ	"	4.3	5
画像解像度	px	800 × 480	1280 × 720
カメラ/画像ファイルの解像度 ^{A)B)}	px	1280 × 720	
カメラ、写真/動画ファイルの解像度 ^{A)}	px		1280 × 720
スクリーンショットの保存形式		JPG	JPG
動画の保存形式		-	AVI
フレームレート（動画）			
- AutoUp 機能なし	fps	-	20
- AutoUp 機能あり ^{A)}	fps	-	7

スコープ		GIC 4-23 C	GIC 5-27 C
撮影可能枚数 (内部メモリ)		30	30
視野 ^{A)C)}	°	75	75
焦点距離 ^{A)}	mm	30 ~ 80	30 ~ 80
最大照度 (カメラヘッドの照明) ^{A)D)}	lx	200	200
カメラヘッド/ケーブルの最大浸漬時間 (軽油/ガソリン、モーターオイル、エチルアルコール、AdBlue®、塩水 [塩分濃度 26.5%]) ^{A)}	分	30	30
電源			
- バッテリー (リチウムイオン)		10.8V/12V	10.8V/12V
- 電池 (アルカリマンガン、電池アダプターを使用)		1.5V LR6 (単3) ×4本	1.5V LR6 (単3) ×4本
- 充電電池 (ニッケル水素、電池アダプターを使用)		1.2V HR6 (単3) ×4本	1.2V HR6 (単3) ×4本
連続使用時間、約			
- 電池 (リチウムイオン電池) 使用時 ^{E)}	時間	8 ^{F)}	6 ^{G)}
- 電池 (アルカリマンガン電池) 使用時	時間	3 ^{F)}	2 ^{G)}
- 充電電池 (ニッケル水素電池、1.2V) 使用時	時間	3.5 ^{F)}	3 ^{G)}
質量 ^{H)}	kg	0.36	0.36
寸法 (長さ×幅×高さ) ^{E)}	mm	242 × 140 × 66	242 × 140 × 66
カメラヘッドの直径 ^{A)}	mm	8.3	8.3
カメラケーブルの長さ ^{A)}	m	1.5	1.5
カメラケーブルの最小曲げ半径	mm	25	25
ハンドユニットの保護等級 (電池アダプターなし)		IP54	IP54
カメラヘッドとカメラケーブルの保護等級 ^{A)}		IP67	IP67
充電可能温度範囲	°C	0 ~ +35	0 ~ +35
使用可能温度範囲	°C	-10 ~ +50	-10 ~ +50
保管温度範囲 (バッテリーなし)	°C	-20 ~ +70	-20 ~ +70
使用可能バッテリー		GBA 10,8V... GBA12V... GBA 12V...	GBA 10,8V... GBA12V... GBA 12V...
使用可能充電器		GAL12... GAL 12... GAX18 ...	GAL12... GAL 12... GAX18 ...

A) カメラケーブル使用時 **GIC 4/5 Imager 8.3mm/1.5m**

B) 解像度 : 800 × 480 (ディスプレイでの画像拡大時、または白黒表示にした場合)

C) 画像の対角線で測定

D) 50mmの距離、暗い環境下

E) GBA 12V 2.0Ahの場合

F) カメラディスプレイ + **Up Indication**機能使用時、ディスプレイの明るさは中程度、カメラの照明の明るさは50%

G) カメラディスプレイ + **AutoUp**機能使用時、ディスプレイの明るさは中程度、カメラの照明の明るさは50%

H) リチウムイオンバッテリー/電池アダプター/電池/充電電池/カメラケーブルを除く質量 (リチウムイオンバッテリーの質量についてはwww.bosch-professional.comを参照)

使い方

電源

スコープは、**Bosch**のリチウムイオン電池、市販の一般的な電池または充電電池 (ニッケル水素電池) で作動させることができます。

ディスプレイの残量表示(c)には、リチウムイオン電池、電池/充電電池 (ニッケル水素電池) の残量が表示されます。

電池アダプター使用時 (図A1-A2を参照)

電池/充電電池をバッテリーアダプターに挿入します。

- ▶ **バッテリーアダプターはボッシュ製スコープ専用のもので、他の電動工具で使用することはできません。**

電池アダプター、新仕様 (図A1を参照) :

電池アダプターのロックキャップ(22)を反時計回りに回して取り外してから、電池/充電電池を電池アダプター(17)にセットします。その際、電池アダプターのマークに従って極性が正しいことを確認してください。

電池アダプターのロックキャップ(22)をセットします。その際、ロックキャップと電池アダプターのマークを確認してください。続いて、ロックキャップを時計回りに回してロックします。

電池アダプター(17)をセットする場合は、カチッと音がするまでトレイ(20)に押し込みます。

電池アダプター(17)を取り外す場合は、ロック解除ボタン(21)を押しながら電池アダプターをトレイ(20)から引き抜きます。

電池アダプター、旧仕様 (図A2を参照) :

電池/充電電池を入れる場合は、バッテリーアダプターのカバー(23)を電池トレイ(20)に動かします。図のように電池/充電電池とロックキャップ(22)をカバーにセットします。カチッと噛み合う音がするまでロックキャップをカバーに押し込み、スコープのグリップ部にぴったり重なるようにします。

電池/充電電池を取り出すには、ロックキャップ(22)のロック解除ボタン(21)を押して、ロックキャップを引き出します。内側のカバー(23)を電池トレイ(20)から引き抜きます。

電池アダプター、新旧仕様 :

電池/バッテリーはすべて同じタイミングで交換してください。また、複数のメーカーに分けたりせず、単一メーカーの同じ容量の電池/バッテリーのみを使用してください。

- ▶ **スコープを長期間使用しない場合には、スコープから電池/充電電池を取り出してください。**電池/充電電池をスコープの中に長期間入れたままにすると腐食することがあります。

充電電池を使用して作業する (図Bを参照)

- ▶ **テクニカルデータに記載されている充電器のみをご使用ください。**これらの充電器のみが、スコープで使用可能なリチウムイオン電池に対応しています。

注意事項 : 国際輸送の規格に従い、リチウムイオンバッテリーは仮充電した状態で納入されます。バッテリーの出力をフルで引き出せるよう、初回のご使用前にバッテリーを満充電してください。

充電した充電電池を入れる場合は、充電電池(16)を電池トレイ(20)にカチッとまるまで押し込み、スコープのグリップ部にぴったり重なるようにします。

充電電池(16)を取り出すには、ロック解除ボタン(21)を押して、電池トレイ(20)から電池を取り出します。その際、無理な力を加えないでください。

バッテリーを最適に取り扱うために

バッテリーを湿気や水から保護してください。
-20°C ... 50°Cの温度範囲内でバッテリーを保管してください。例えば夏季にバッテリーを車両に置いたままにしないでください。

正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリーの寿命が尽きたと考えられます。新しいバッテリーと交換してください。

その際、廃棄に関する注意事項を必ず守ってください。

カメラケーブルの取付け (図Cを参照)

スコープを作動させるためには、カメラケーブル(1)をハンドユニット(15)に取り付ける必要があります。

カメラケーブル(1)のプラグをカメラ接続部(24)にカチッとまるまで適切に差し込みます。

カメラケーブルの取り外し (図Dを参照)

カメラケーブル(1)を取り外すには、ロック(25)を押し縮め、プラグをハンドユニット(15)から抜き取ります。

ミラー、フック、マグネットの取付け (図Eを参照)

ミラー(28)、フック(27)とマグネット(26)は、アクセサリとしてカメラヘッド(4)に取り付けることができます。

これらの3つのアクセサリを図のようにカメラヘッド(4)に止まるまで差し込みます。

注意事項 : マグネット(26)とフック(27)は、緩く取り付けられている、小さい軽量の物体を動かしたり、取り外す場合にのみ適しています。強く引っ張ると、スコープまたはアクセサリが損傷するおそれがあります。

操作

- ▶ **ハンドユニット、電池、バッテリーアダプターを直射日光から保護してください。**電池とバッテリーアダプターを湿気から保護してください。カメラケーブル(1)とカメラヘッド(4)は、適切に取り付けられていれば耐水性があり、ハンドユニット(15)も飛散水が侵入しない仕様になっています。しかし、電池(16)とバッテリーアダプターには耐水性がなく、水などがかったりすると、感電や本体の損傷につながるおそれがあります。

▶ **カメラヘッド(4)のレンズが曇っている場合、スコープを使用しないでください。**湿気が蒸発してからスコープのスイッチを入れてください。これを守らないとスコープが損傷するおそれがあります。

- ▶ **スイッチがオンになっている照明(5)は、作動中、高温になることがあります。**やけどしないように、照明には触れないでください。

- ▶ **スコープを極端な温度や温度変化にさらさないでください。**車の中などに長時間放置しないでください。温度変化が大きい場合、スコープを作動させる前にまず環境に慣れさせてください。

始動

オン/オフ

電源ボタン(8)または中央のボタン(11)を押すと、スコープが**オン**になります。

注意事項：電源を入れたときにカメラケーブルが取り付けられていない場合、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

スコープを**オフ**にするには、ディスプレイの表示が消えるまで電源ボタン(8)を押します。

スコープのボタンをしばらく操作しないと、電池/充電電池の消耗を防ぐために、スコープは自動的に**オフ**になります。スイッチオフ時間はメインメニューで設定することができます。

カメラヘッドの照明の調整

希望の明るさになるまで、または照明が消えるまで左側のボタン(10)または右側のボタン(13)を何度か押して照明を調整することができます。

- ▶ **照明(5)を直接覗き込んだり、照明を他の人に向けたたりしないでください。**照明の光によって眼に眩しさを与えることがあります。

ディスプレイの画像の縮小/拡大 (ズーム)

希望の画像倍率になるまで上側のボタン(9)または下側のボタン(12)を押します。

メインメニュー

中央のボタン(11)を押すと、<メニュー>が開きます。

メニュー内の移動

- メニューをスクロールする：上側のボタン(9)または下側のボタン(12)を押します。
- サブメニューに切り替える：中央のボタン(11)または右側のボタン(13)を押します。
- 選択したメニュー設定を確定する：中央のボタン(11)を押します。
- バーチャルスイッチを使用した機能を**オン/オフ**する：中央のボタン(11)、右側のボタン(13)または左側のボタン(10)のいずれかを押すと、その設定が保存されます。
- 1つ上のメニューに戻る：電源ボタン(8)を短く押します。
- メインメニューを終了し、カメラ画面に戻る：電源ボタン(8)を短く押します。

メニュー設定

- <Up Indication> (GIC 4-23 C)：機能の**オン/オフ**を切り替えます。

Up Indication機能を**オン**にすると、どこが「上」かがわかる方向表示(b)の矢印が画像に表示されます (図Fを参照)。

注意事項：本機能はすべてのカメラケーブルで

使用できるわけではありません。ミラー(28)が取り付けられている場合、および/またはカメラケーブル(1)が垂直に配置されている場合は、本機能が制限されることがあります。

- <AutoUp> (GIC 5-27 C)：機能の**オン/オフ**を切り替えます。

AutoUp機能を使用して、「上」が画面の上に来るように画像を回転させることができます (図Gを参照)。

注意事項：本機能はすべてのカメラケーブルで使用できるわけではありません。ミラー(28)が取り付けられている場合、および/またはカメラケーブル(1)が垂直に配置されている場合は、本機能が制限されることがあります。

- <ギャラリー> (GIC 4-23 C)：撮影した写真を再生することができます。
上側のボタン(12)または下側のボタン(9)を押して目的のファイルを選択します (ファイルは日付順に表示)。
右側のボタン(13)または中央のボタン(11)を押すと、選択した写真がプレビュー表示されます。
中央のボタン(11)を押すと、選択したファイルが開きます。

- <ギャラリー> (GIC 5-27 C)：撮影した写真/動画を再生することができます。
上側のボタン(12)または下側のボタン(9)を押して目的のファイルを選択します (ファイルは日付順に表示)。
右側のボタン(13)または中央のボタン(11)を押すと、選択した写真/動画がプレビュー表示されます。
中央のボタン(11)を押すと、選択したファイルが開きます。

注意事項：マイクロSDカード(30)を挿入している場合、マイクロSDカードに保存されているファイルのみが表示されます。内部メモリにある写真を再生する場合は、マイクロSDカード(30)を取り外してください。

- <カメラモード> (GIC 5-27 C)：<写真>、<動画>を撮影するときに選択します。
- <ディスプレイ照度>：ディスプレイの明るさを調節します。
- <色>：ディスプレイのカラー表示の**オン/オフ**を切り替えます (オフ：白黒表示)。

- <デバイス設定>

- <日付と時刻>：ファイルを保存する日付と時刻を設定し、日付と時刻の形式を選択します。

注意事項：スコープを長時間電源から切り離れた場合、日付と時刻がリセットされ、再設定が必要になります。

- <言語>：ディスプレイに表示する言語を選択します。

- <自動スイッチオフ時間>：ボタンを操作しなくなってからスコープが自動的に**オフ**になるまでの時間を設定します。

- **<本体情報>**：インストールされているソフトウェアのバージョンや法的情報などのシステム情報を確認することができます。
- **<工場出荷時設定>**：すべてのメニュー設定を工場出荷時の設定にリセットすることができます。また、保存されたすべてのファイルが完全に削除されます。

撮影したデータの保存/転送 (GIC 4-23 C)

写真を撮影する

写真撮影ボタン(14)を押して、現在ディスプレイに表示されている画像を撮影します。写真はスコープの内部メモリに保存され、USB Type-C®経由で転送することができます。

USB Type-C®インターフェース経由でデータを送信する

USB Type-C®経由でデータを転送するためにスコープの電源を入れます。USB Type-C®差込口(3)のカバーを開いてから、USB Type-C®差込口にUSB Type-C®ケーブル(29)を差し込んでPCと接続します。

PCでファイルブラウザを開き、ドライブ **Bosch_GIC** を選択します。保存したファイルは、スコープの内部メモリからコピーしたり、PCに移動したり、削除したりすることができます。

目的の作業が終わったら、ドライブとの接続を解除します。

注意事項：最初にPCのオペレーションシステムからドライブをログアウト（イジェクト）してください。そうしないと、スコープの内部メモリが損傷するおそれがあります。

USB Type-C®ケーブルを取り外します（するとスコープは自動的にオフになります）。水やほこりから守るために、上部のカバー(2)を閉じます。

注意事項：必ずUSB Type-C®インターフェースを介してスコープとPCを接続してください。他の装置に接続すると、スコープが損傷するおそれがあります。

注意事項：USB Type-C®インターフェースはデータを転送するためにのみ使用し、バッテリーや他の装置を充電するために使用することはできません。

撮影したデータの保存/転送 (GIC 5-27 C)

写真/動画を撮影する

マイクロSDカード(30)を挿入すると、撮影した写真と動画はそのカードに保存されます。

マイクロSDカードを挿入しないと、写真はスコープの内部メモリに保存されます。動画の録画はできません。

写真モード：写真/動画撮影ボタン(19)を押して、現在ディスプレイに表示されている画像を撮影します。

動画モード：動画の録画を開始する場合は写真/動画撮影ボタン(19)を押し、終了する場合は写真/動画

画撮影ボタン(19)または中央のボタン(11)を押します。

写真モードと動画モードは<メニュー>で切り替えることができます。

データの転送について

- 写真を**内部メモリからマイクロSDカード(30)**に転送する：マイクロSDカード(30)を挿入すると、スコープの内部メモリに保存されているデータをマイクロSDカードに転送するかどうかを尋ねるダイアログがディスプレイに表示されます。
- 写真を**USB Type-C®経由で内部メモリから**転送する：マイクロSDカード(30)をスコープに挿入していない場合にのみ転送することができます。
- ファイルを**マイクロSDカードから(30)**転送する：挿入したマイクロSDカード(30)からファイルをUSB Type-C®経由で転送するか、またはマイクロSDカード(30)をスコープから取り外して別の装置に挿入することができます。

マイクロSDカードを挿入する

上部のカバー(2)を開き、スロット(18)にマイクロSDカード(30)を正しい向きで完全に押し込んでから、上部のカバーを再びしっかり閉じます。

USB Type-C®インターフェース経由でデータを送信する

USB Type-C®経由でデータを転送するためにスコープの電源を入れます。USB Type-C®差込口(3)のカバーを開いてから、USB Type-C®差込口にUSB Type-C®ケーブル(29)を差し込んでPCと接続します。

PCでファイルブラウザを開き、ファイルを転送するドライブを選択します。ドライブの名称は以下のようになります。

- マイクロSDカードがスコープに挿入されていない場合：**Bosch_GIC**
- 名称が付いていないマイクロSDカードがスコープに挿入されている場合：USBドライブの初期設定の名称
- 名称が付いているマイクロSDカードがスコープに挿入されている場合：マイクロSDカードの名称

保存したファイルは、スコープの内部メモリまたはマイクロSDカードからコピーしたり、PCに移動したり、削除したりすることができます。

目的の作業が終わったら、ドライブとの接続を解除します。

注意事項：最初にPCのオペレーションシステムからドライブをログアウト（イジェクト）してください。そうしないと、スコープの内部メモリが損傷するおそれがあります。

USB Type-C®ケーブルを取り外します（するとスコープは自動的にオフになります）。水やほこりから守るために、上部のカバー(2)を閉じます。

注意事項：必ずUSB Type-C®インターフェースを介してスコープとPCを接続してください。他の装

置に接続すると、スコープが損傷するおそれがあります。

注意事項：USB Type-C®インターフェースはデータを転送するためにのみ使用し、バッテリーや他の装置を充電するために使用することはできません。

作業に関する注意事項

検査したい環境を確認し、特に障害物や危険個所がないか注意してください。

カメラヘッドが検査対象の環境にうまく挿入されるようにカメラケーブル(1)を曲げてください。カメラケーブルを慎重に導き入れてください。

ライト(5)の明るさを調節すると、画像がはっきり見えやすくなります。対象が光を強く反射する場合には、光量を抑えたり、白黒に設定すると、より良好な画像が得られます。

検査対象の物体が不鮮明に表示される場合、カメラヘッド(4)と物体間の距離を広げたり、狭めたりしてください。

故障かな？と思ったら - 原因と対処

注意事項：マイクロSDカード(30)はGIC 5-27 Cでのみ使用可能です。

ディスプレイ上のエラーサイン	原因	対処
	内部メモリがほぼいっぱいになっている	内部メモリからファイルを削除するか、またはマイクロSDカード(30)を挿入してください。
(黄色の警告)		
	内部メモリがいっぱいになっている	内部メモリからファイルを削除するか、またはマイクロSDカード(30)を挿入してください。
(赤色の警告)		
	内部メモリのエラー	スコープの電源を入れ直してください。 問題が引き続き発生する場合は、 Bosch のカスタマーサービスにお問い合わせください。
	マイクロSDカードがほぼいっぱいになっている	マイクロSDカード(30)からファイルを削除してください。
(黄色の警告)		
	マイクロSDカードがいっぱいになっている	マイクロSDカード(30)からファイルを削除してください。
(赤色の警告)		

ディスプレイ上のエラーサイン	原因	対処
	マイクロSDカードのエラー	マイクロSDカード(30)をいったん取り外し、挿入し直してください。 別の装置でマイクロSDカードを確認してください。

お手入れと保管

保守と清掃

ハンドユニット(15)を水またはその他の液体中に浸漬させないでください。

スコープは常にきれいに保ってください。健康を脅かす物質が存在する領域で作業を行った後は、スコープおよびすべてのアクセサリをとりわけ入念に清掃してください。

汚れは水気を含んだ柔らかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤を使用しないでください。

特にカメラレンズ(6)は定期的に清掃を行い、糸くずが付着していないか注意してください。

カスタマーサービス&使い方のご相談

日本

お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

〒224-003 神奈川県横浜市都筑区中川中央1-9-32

コールセンターフリーダイヤル 0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前 9:00 ~ 午後 5:30)

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030

FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486

FAX 092-963-3407

お問い合わせまたは交換パーツの注文の際には、必ず本製品の銘板に基づき10桁の部品番号をお知らせください。

廃棄

スコープ、電池/充電電池、アクセサリと梱包材は、環境に適合した方法でリサイクルしてください。

 スコープと電池/充電電池を一般の家庭用ごみとして廃棄しないでください！

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。

本製品は、リチウムイオンバッテリーを内蔵しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。ご使用済みの製品本体を廃棄するときは、本体を分解せず、製品本体ごとボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちください。



[<http://www.jbrc.com>]



Li-ion

Servicekontakte
Service Contacts
Contacts de Service
Contactos de Servicio
Контакты сервисных центров



<https://www.bosch-pt.com/serviceaddresses>

Garantiebedingungen
Guarantee Conditions
Conditions de Garantie
Condiciones de Garantía
Условия гарантии



<https://www.bosch-pt.com/guarantee/202601>